

## 豊かな社会に関するアンケート結果

県では、2030年に「豊かさを実感できる持続可能な滋賀社会の構築」を県政の重要課題の一つとして掲げています。琵琶湖環境科学研究センターでは、滋賀県の構想を研究の面で支援するため、滋賀県版“豊かさ指標（満足度指標）”の作成を試みています。そのための前段階として、滋賀に暮らす県民の皆様が、何をもって幸福や豊かさを感じておられるのかを探ることを目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：平成27年8月

★対象者：県政モニター398人

★回答数：338人（回収率84.9）

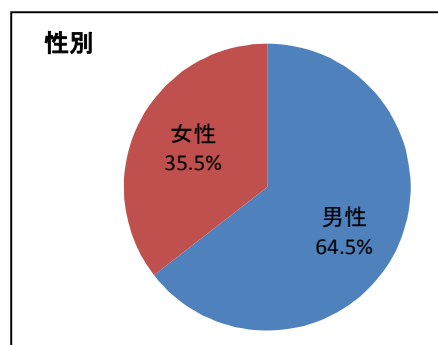
★担当課：琵琶湖環境科学研究センター

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

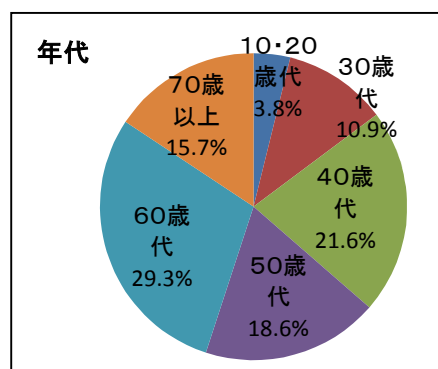
#### ◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	218	64.5%
女性	120	35.5%
合計	338	100.0%



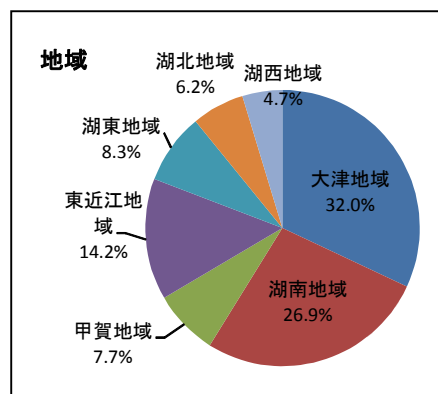
#### ◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	13	3.8%
30歳代	37	10.9%
40歳代	73	21.6%
50歳代	63	18.6%
60歳代	99	29.3%
70歳以上	53	15.7%
合計	338	100.0%



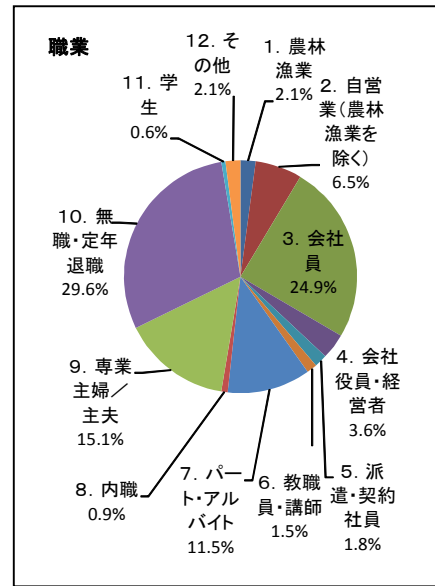
#### ◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	108	32.0%
湖南地域	91	26.9%
甲賀地域	26	7.7%
東近江地域	48	14.2%
湖東地域	28	8.3%
湖北地域	21	6.2%
湖西地域	16	4.7%
合計	338	100.0%



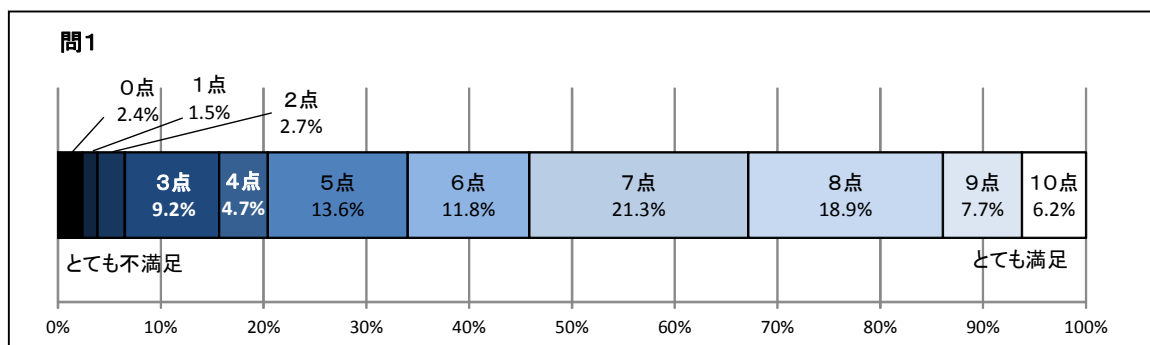
◆職業

項目	人数(人)	割合(%)
1. 農林漁業	7	2.1%
2. 自営業(農林漁業を除く)	22	6.5%
3. 会社員	84	24.9%
4. 会社役員・経営者	12	3.6%
5. 派遣・契約社員	6	1.8%
6. 教職員・講師	5	1.5%
7. パート・アルバイト	39	11.5%
8. 内職	3	0.9%
9. 専業主婦/主夫	51	15.1%
10. 無職・定年退職	100	29.6%
11. 学生	2	0.6%
12. その他	7	2.1%
合計	338	100.0%



問1 あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。「とても不満足」を0点、「とても満足」を10点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれかの点数を1つだけ選んでください。(回答チェックは1つだけ n=338)

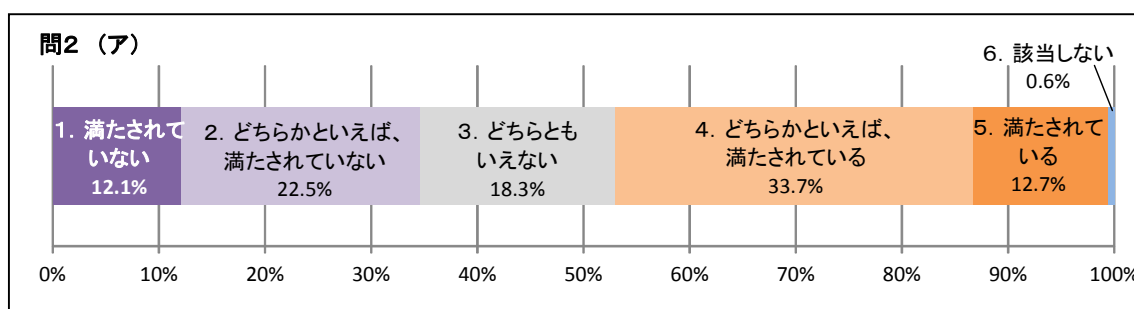
項目	人数(人)	割合(%)
0点←とても不満足	8	2.4%
1点	5	1.5%
2点	9	2.7%
3点	31	9.2%
4点	16	4.7%
5点	46	13.6%
6点	40	11.8%
7点	72	21.3%
8点	64	18.9%
9点	26	7.7%
10点←とても満足	21	6.2%
合計	338	100.0%



問2 あなたは、次の（ア）から（サ）までのそれぞれの項目について、現在どの程度満たされていると感じますか。 1～5の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。あなたの状況により回答が難しい場合は「6. 該当しない」を選んでください。（回答チェックは1つだけ n=338）

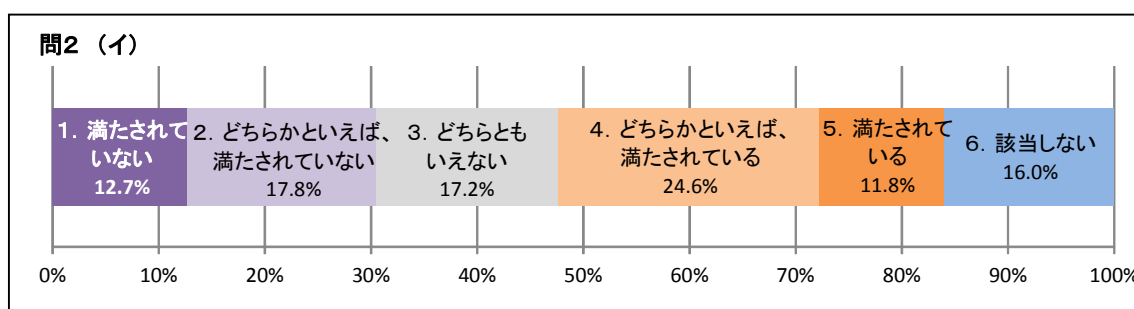
（ア） 収入や支出など、家計の状況に対する満足感

項目	人数（人）	割合（%）
1. 満たされていない	41	12.1%
2. どちらかといえば、満たされていない	76	22.5%
3. どちらともいえない	62	18.3%
4. どちらかといえば、満たされている	114	33.7%
5. 満たされている	43	12.7%
6. 該当しない	2	0.6%
合計	338	100.0%



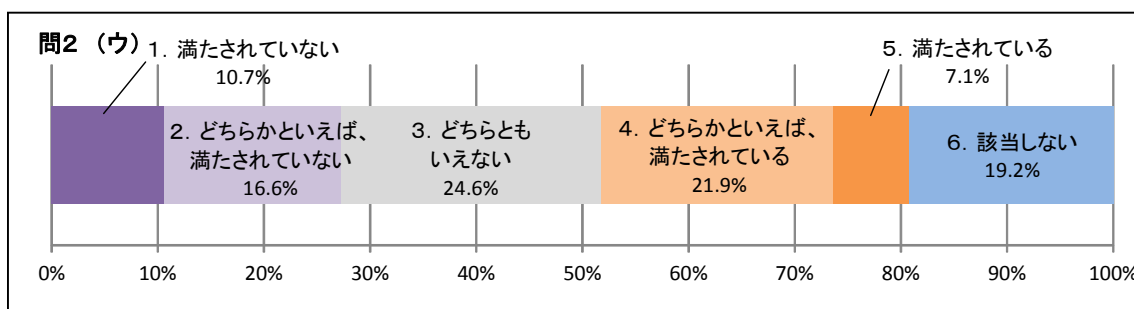
（イ） 働きがい、安定性など、仕事に対する満足感

項目	人数（人）	割合（%）
1. 満たされていない	43	12.7%
2. どちらかといえば、満たされていない	60	17.8%
3. どちらともいえない	58	17.2%
4. どちらかといえば、満たされている	83	24.6%
5. 満たされている	40	11.8%
6. 該当しない	54	16.0%
合計	338	100.0%



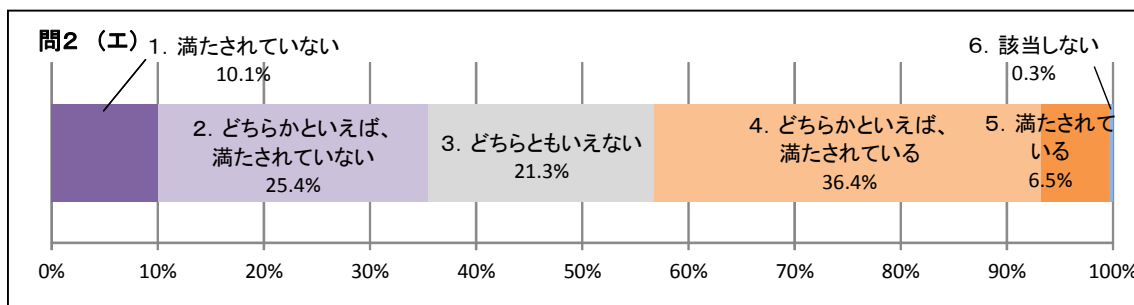
(ウ) 子育て・教育への安心感（幼児から大学までの子、孫を含む）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	36	10.7%
2. どちらかといえば、満たされていない	56	16.6%
3. どちらともいえない	83	24.6%
4. どちらかといえば、満たされている	74	21.9%
5. 満たされている	24	7.1%
6. 該当しない	65	19.2%
合計	338	100.0%



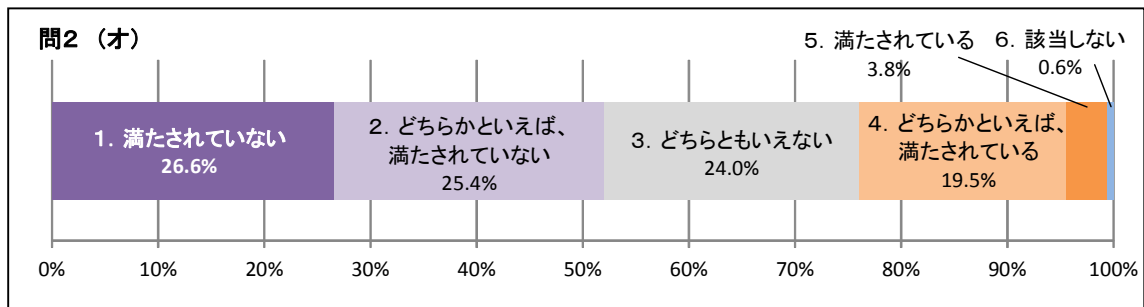
(エ) 自分や家族の健康への安心感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	34	10.1%
2. どちらかといえば、満たされていない	86	25.4%
3. どちらともいえない	72	21.3%
4. どちらかといえば、満たされている	123	36.4%
5. 満たされている	22	6.5%
6. 該当しない	1	0.3%
合計	338	100.0%



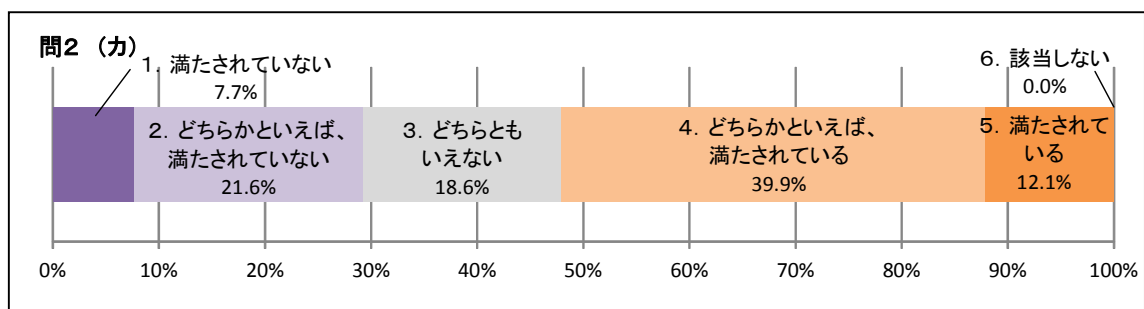
(オ) 自分や家族の老後への安心感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	90	26.6%
2. どちらかといえば、満たされていない	86	25.4%
3. どちらともいえない	81	24.0%
4. どちらかといえば、満たされている	66	19.5%
5. 満たされている	13	3.8%
6. 該当しない	2	0.6%
合計	338	100.0%



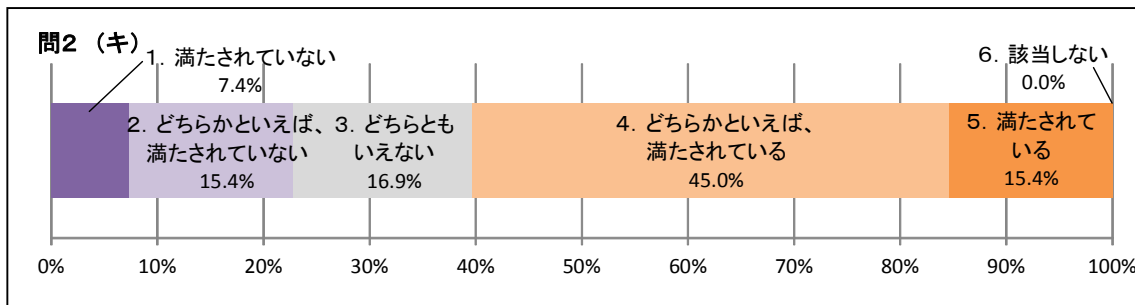
(カ) 街の便利さや美しい風景など、周辺環境への満足感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	26	7.7%
2. どちらかといえば、満たされていない	73	21.6%
3. どちらともいえない	63	18.6%
4. どちらかといえば、満たされている	135	39.9%
5. 満たされている	41	12.1%
6. 該当しない	0	0.0%
合計	338	100.0%



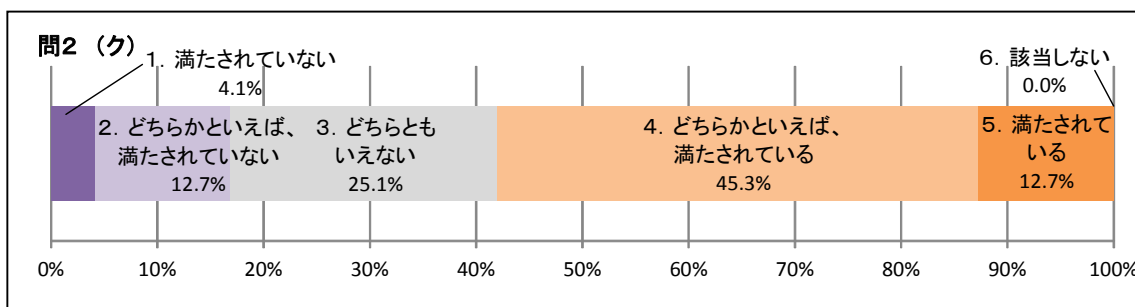
(キ) 快適・便利な暮らしや住居への満足感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	25	7.4%
2. どちらかといえば、満たされていない	52	15.4%
3. どちらともいえない	57	16.9%
4. どちらかといえば、満たされている	152	45.0%
5. 満たされている	52	15.4%
6. 該当しない	0	0.0%
合計	338	100.0%



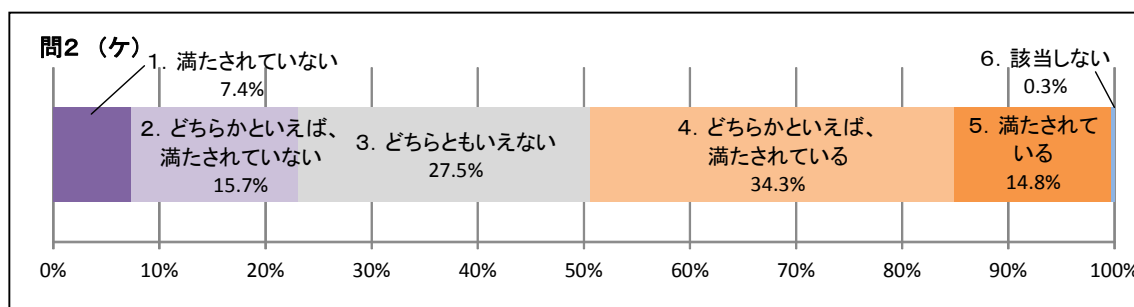
(ク) 美味しさや安心・安全など、食生活への満足感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	14	4.1%
2. どちらかといえば、満たされていない	43	12.7%
3. どちらともいえない	85	25.1%
4. どちらかといえば、満たされている	153	45.3%
5. 満たされている	43	12.7%
6. 該当しない	0	0.0%
合計	338	100.0%



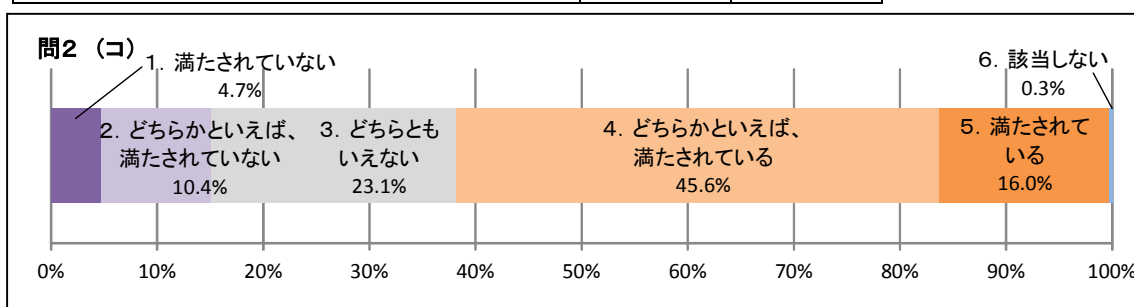
(ケ) 自分の好きなことができている、社会や人のために役に立っているという充実感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	25	7.4%
2. どちらかといえば、満たされていない	53	15.7%
3. どちらともいえない	93	27.5%
4. どちらかといえば、満たされている	116	34.3%
5. 満たされている	50	14.8%
6. 該当しない	1	0.3%
合計	338	100.0%



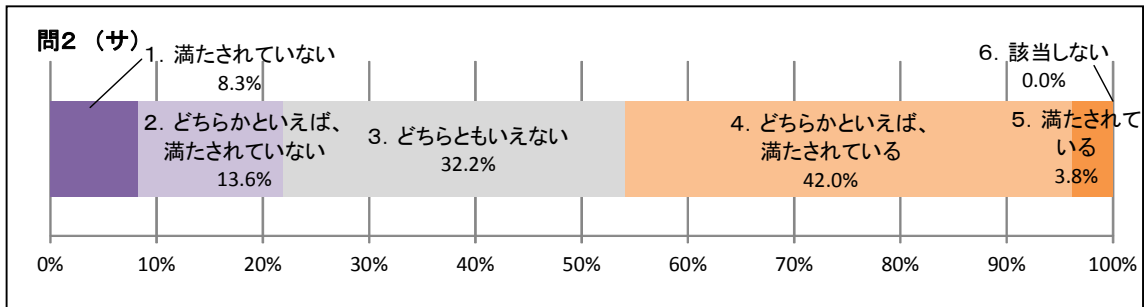
(コ) 家族や周りの人との関係

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	16	4.7%
2. どちらかといえば、満たされていない	35	10.4%
3. どちらともいえない	78	23.1%
4. どちらかといえば、満たされている	154	45.6%
5. 満たされている	54	16.0%
6. 該当しない	1	0.3%
合計	338	100.0%



(サ) 災害や犯罪からの安心・安全感

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満たされていない	28	8.3%
2. どちらかといえば、満たされていない	46	13.6%
3. どちらともいえない	109	32.2%
4. どちらかといえば、満たされている	142	42.0%
5. 満たされている	13	3.8%
6. 該当しない	0	0.0%
合計	338	100.0%

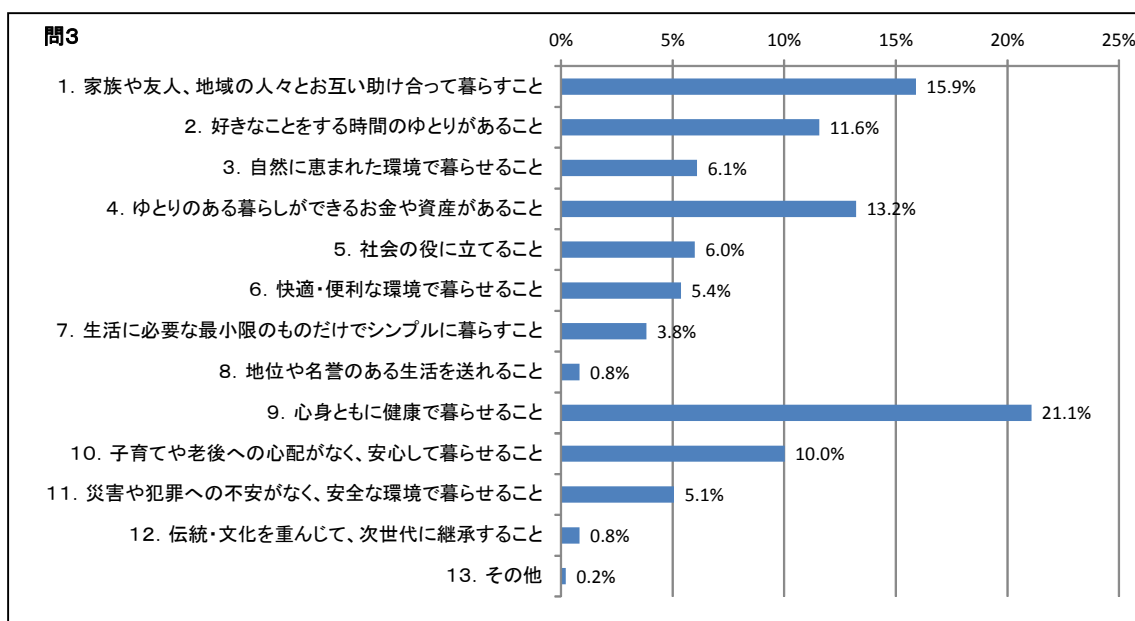





問3 あなたにとって、「幸福」や「豊かさ」とは、どのようなことですか。

“最も大事だ”と思うものを3つ選んでください。(回答チェックは3つまで  
n=338)

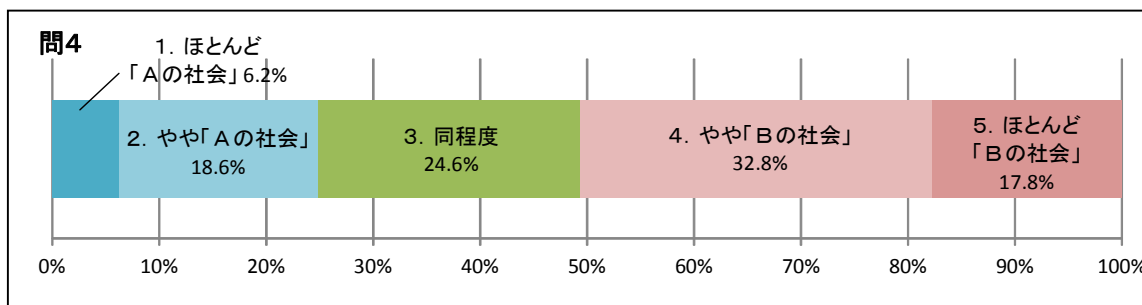
項目	人数(人)	割合(%)
1. 家族や友人、地域の人々とお互い助け合って暮らすこと	154	15.9%
2. 好きなことをする時間のゆとりがあること	112	11.6%
3. 自然に恵まれた環境で暮らせること	59	6.1%
4. ゆとりのある暮らしができるお金や資産があること	128	13.2%
5. 社会の役に立てること	58	6.0%
6. 快適・便利な環境で暮らせること	52	5.4%
7. 生活に必要な最小限のものだけでシンプルに暮らすこと	37	3.8%
8. 地位や名誉のある生活を送れること	8	0.8%
9. 心身ともに健康で暮らせること	204	21.1%
10. 子育てや老後への心配がなく、安心して暮らせること	97	10.0%
11. 災害や犯罪への不安がなく、安全な環境で暮らせること	49	5.1%
12. 伝統・文化を重んじて、次世代に継承すること	8	0.8%
13. その他	2	0.2%



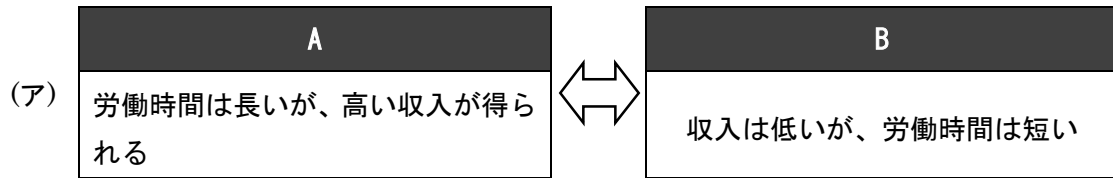
問4 あなたの考える理想的な将来の社会は、次に示す「Aの社会」と「Bの社会」のどちらに近いですか。(回答チェックは1つだけ n=338)

Aの社会	⇔	Bの社会
		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術の進歩で、社会問題や環境問題などを解決する社会</li> <li>・ 経済的な活力と成長を大切にする社会</li> <li>・ 個人の自由を大事にする社会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の力や人々の協力で、社会問題や環境問題などを解決する社会</li> <li>・ 心のゆとりのある暮らしを大切にする社会</li> <li>・ 地域での人と人のつながりを大事にする社会</li> </ul>

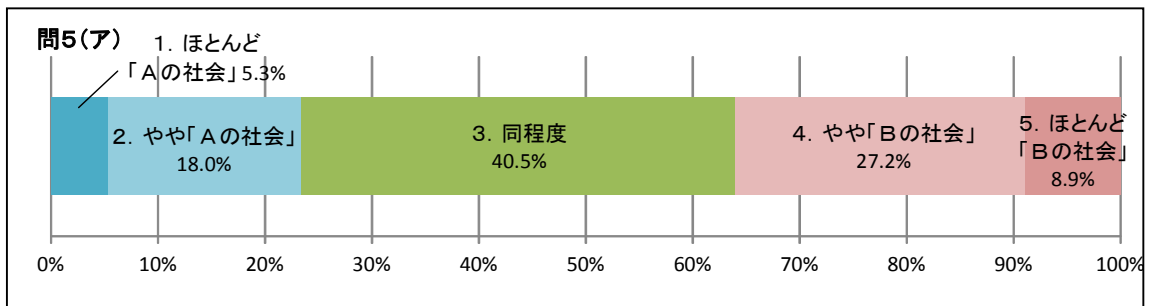
項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	21	6.2%
2. やや「Aの社会」	63	18.6%
3. 同程度	83	24.6%
4. やや「Bの社会」	111	32.8%
5. ほとんど「Bの社会」	60	17.8%
合計	338	100.0%

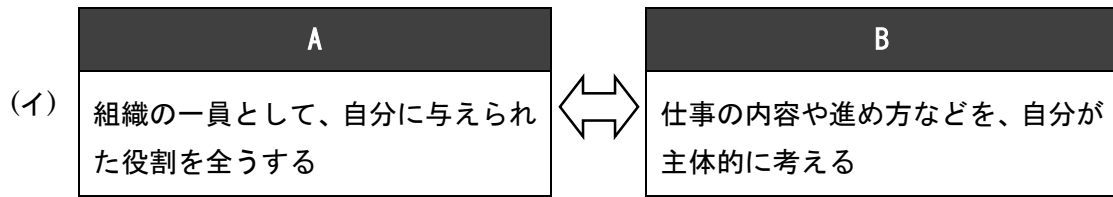


問5 (ア) から (サ) までの項目について、あなたの考える理想的な将来社会は、「Aの社会」と「Bの社会」のどちらに近いですか。(回答チェックはそれぞれ1つだけ n=338)

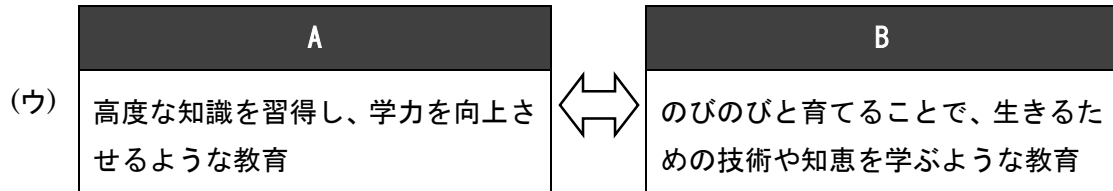
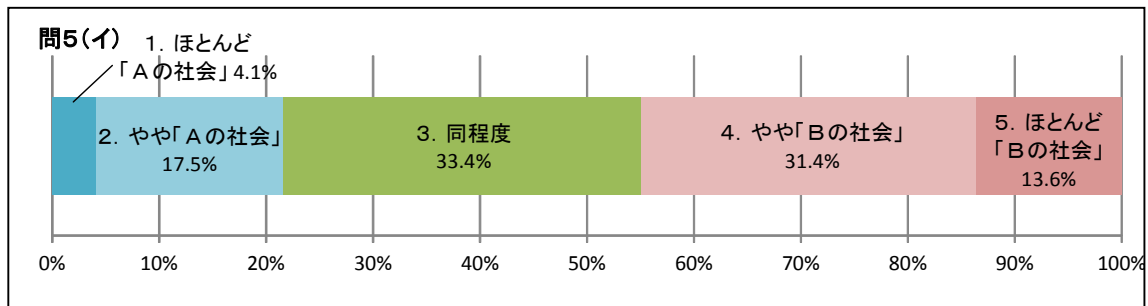


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	18	5.3%
2. やや「Aの社会」	61	18.0%
3. 同程度	137	40.5%
4. やや「Bの社会」	92	27.2%
5. ほとんど「Bの社会」	30	8.9%
合計	338	100.0%

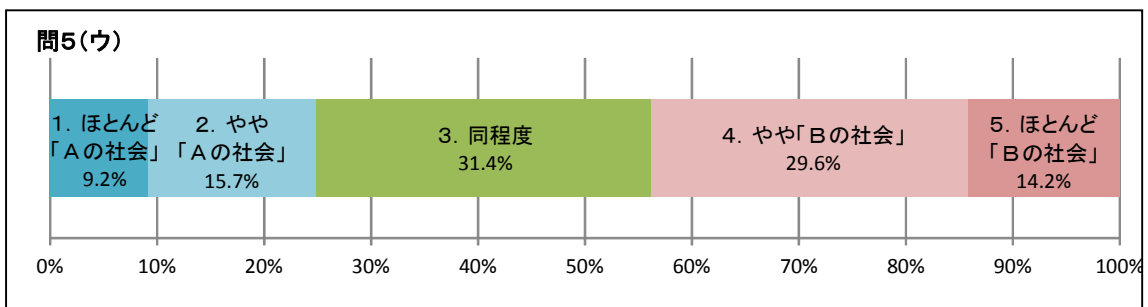


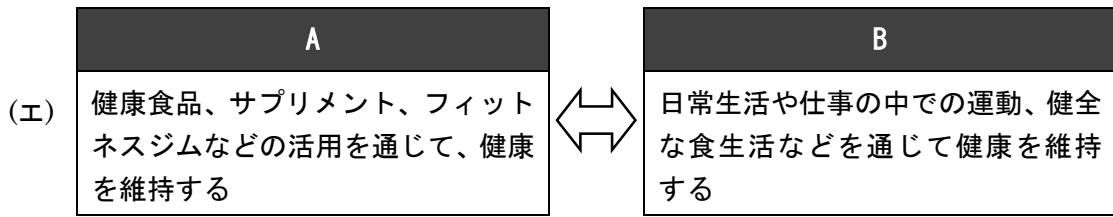


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	14	4.1%
2. やや「Aの社会」	59	17.5%
3. 同程度	113	33.4%
4. やや「Bの社会」	106	31.4%
5. ほとんど「Bの社会」	46	13.6%
合計	338	100.0%

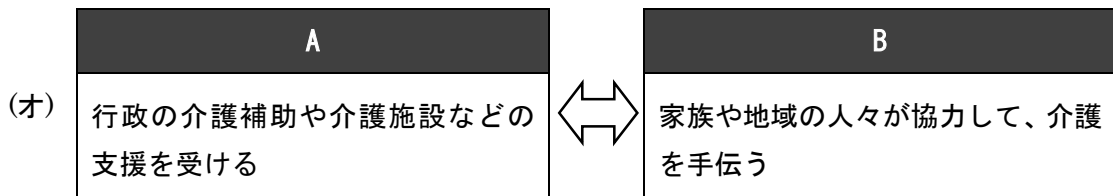
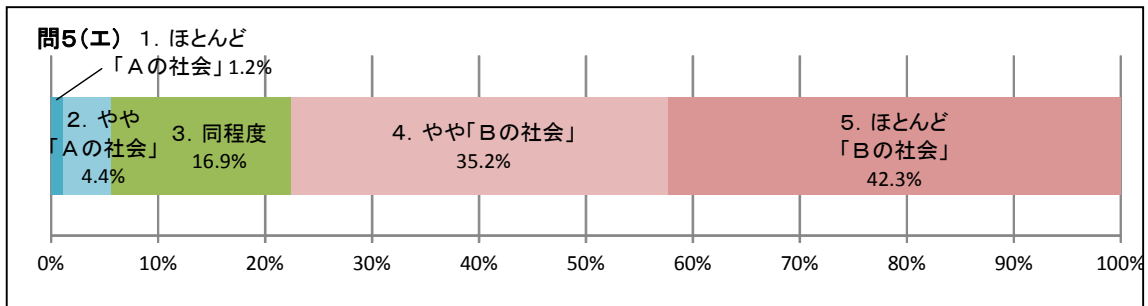


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	31	9.2%
2. やや「Aの社会」	53	15.7%
3. 同程度	106	31.4%
4. やや「Bの社会」	100	29.6%
5. ほとんど「Bの社会」	48	14.2%
合計	338	100.0%

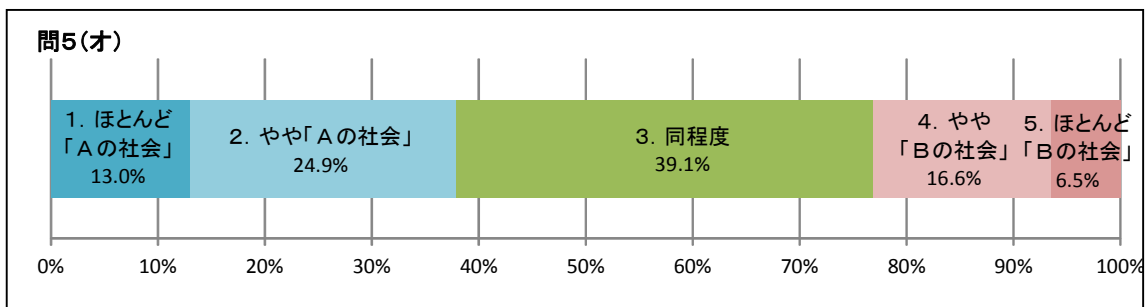


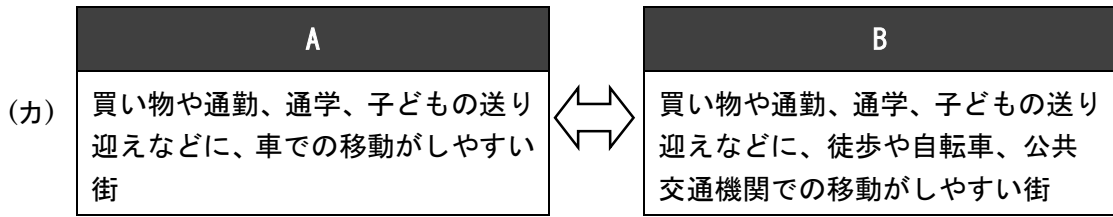


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	4	1.2%
2. やや「Aの社会」	15	4.4%
3. 同程度	57	16.9%
4. やや「Bの社会」	119	35.2%
5. ほとんど「Bの社会」	143	42.3%
合計	338	100.0%

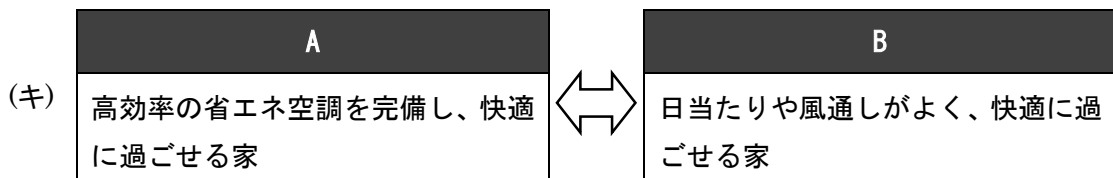
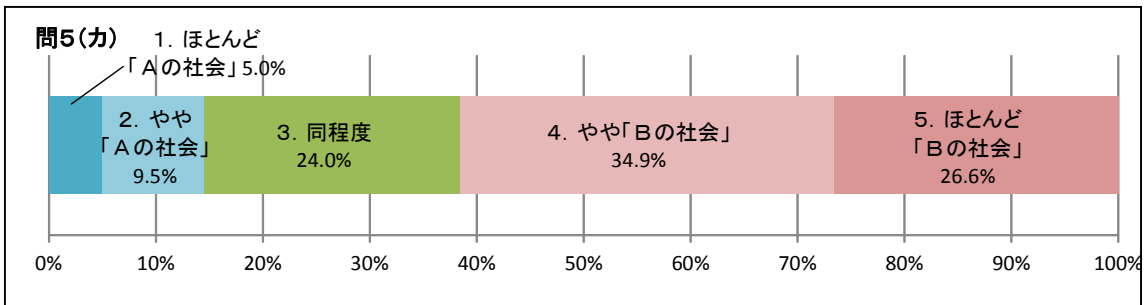


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	44	13.0%
2. やや「Aの社会」	84	24.9%
3. 同程度	132	39.1%
4. やや「Bの社会」	56	16.6%
5. ほとんど「Bの社会」	22	6.5%
合計	338	100.0%

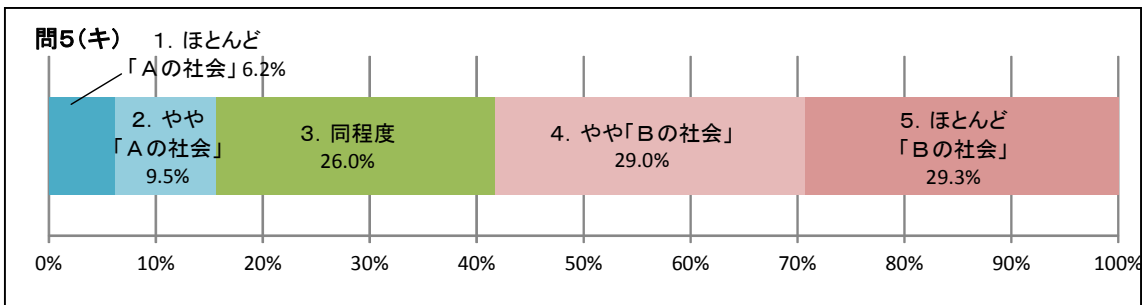


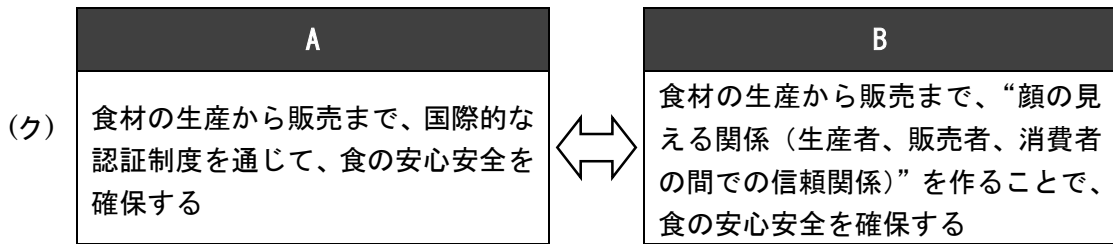


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	17	5.0%
2. やや「Aの社会」	32	9.5%
3. 同程度	81	24.0%
4. やや「Bの社会」	118	34.9%
5. ほとんど「Bの社会」	90	26.6%
合計	338	100.0%

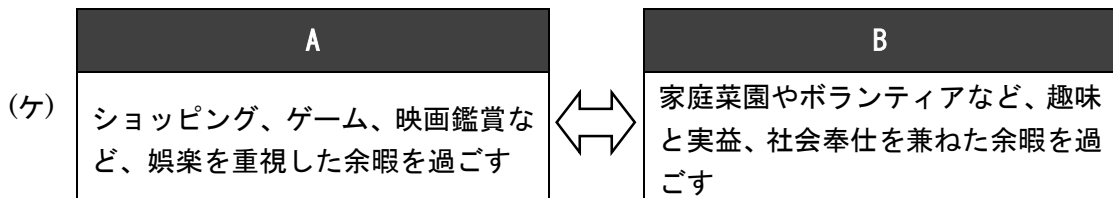
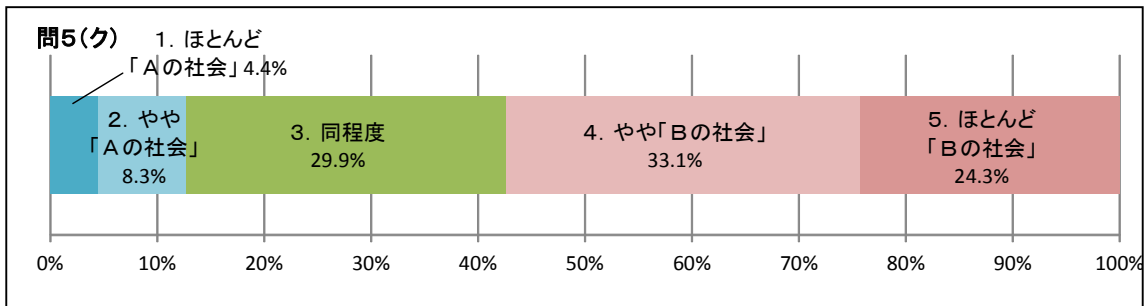


項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	21	6.2%
2. やや「Aの社会」	32	9.5%
3. 同程度	88	26.0%
4. やや「Bの社会」	98	29.0%
5. ほとんど「Bの社会」	99	29.3%
合計	338	100.0%

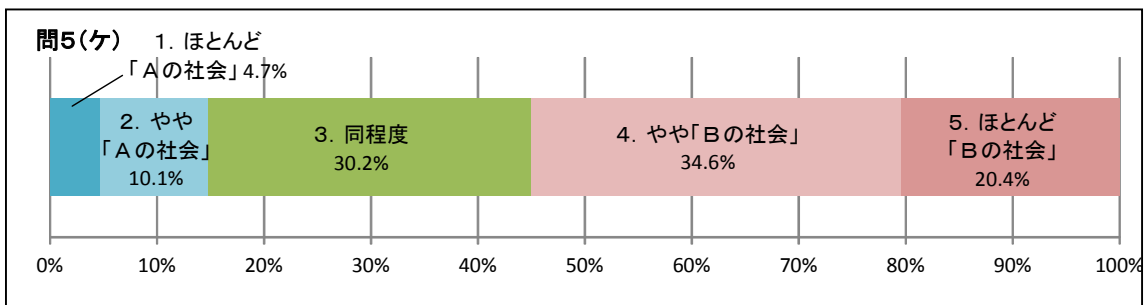


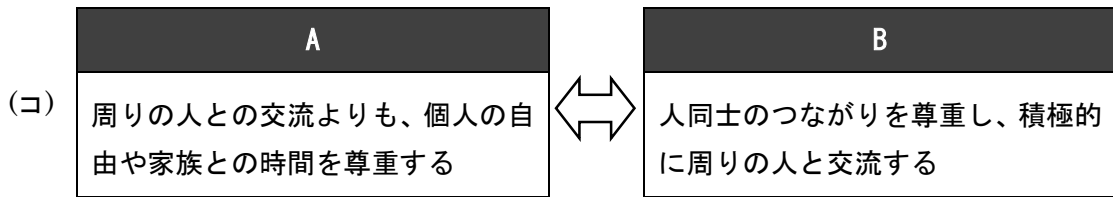


項目	人数（人）	割合（％）
1. ほとんど「Aの社会」	15	4.4%
2. やや「Aの社会」	28	8.3%
3. 同程度	101	29.9%
4. やや「Bの社会」	112	33.1%
5. ほとんど「Bの社会」	82	24.3%
合計	338	100.0%

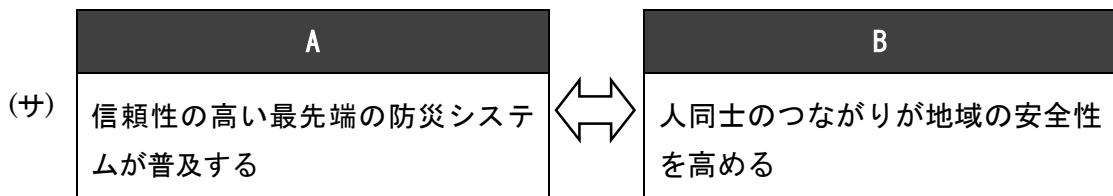
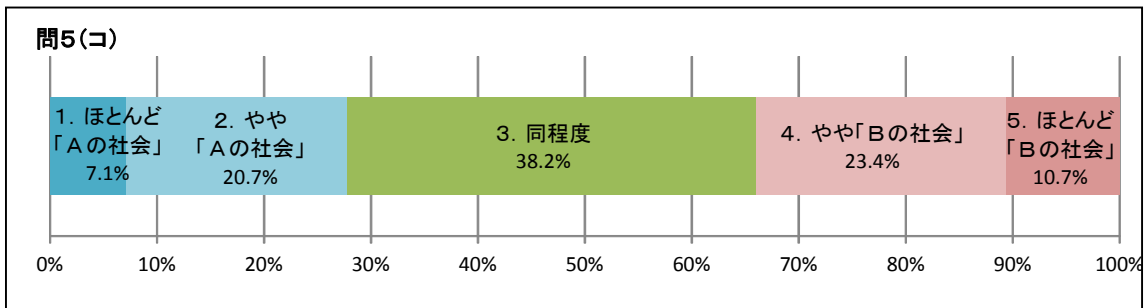


項目	人数（人）	割合（％）
1. ほとんど「Aの社会」	16	4.7%
2. やや「Aの社会」	34	10.1%
3. 同程度	102	30.2%
4. やや「Bの社会」	117	34.6%
5. ほとんど「Bの社会」	69	20.4%
合計	338	100.0%

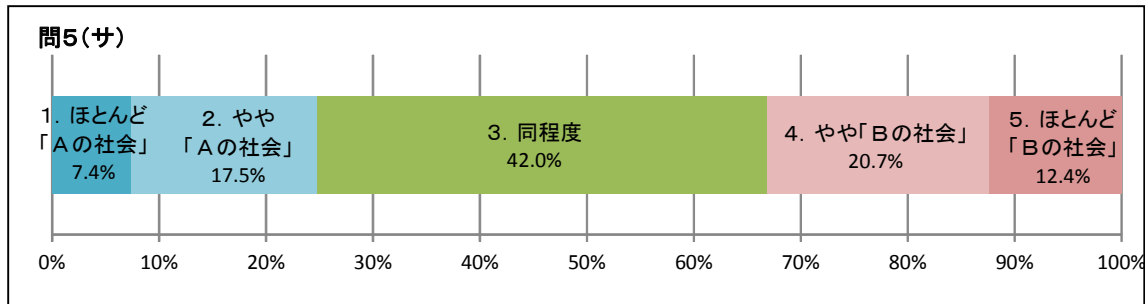




項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	24	7.1%
2. やや「Aの社会」	70	20.7%
3. 同程度	129	38.2%
4. やや「Bの社会」	79	23.4%
5. ほとんど「Bの社会」	36	10.7%
合計	338	100.0%



項目	人数(人)	割合(%)
1. ほとんど「Aの社会」	25	7.4%
2. やや「Aの社会」	59	17.5%
3. 同程度	142	42.0%
4. やや「Bの社会」	70	20.7%
5. ほとんど「Bの社会」	42	12.4%
合計	338	100.0%

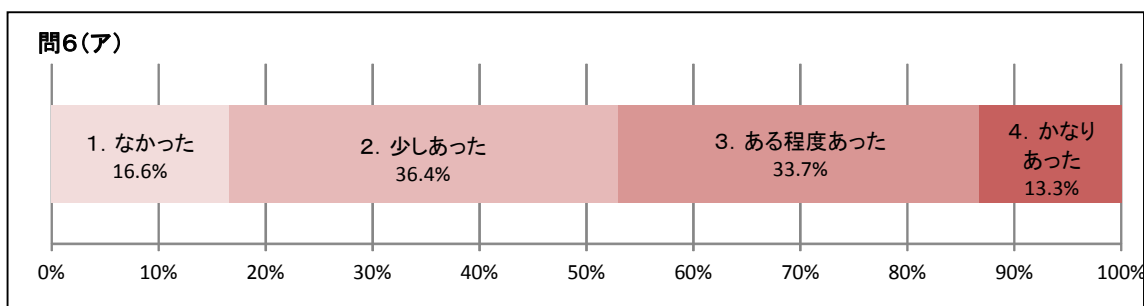




問6 最近1週間ぐらいでのあなたについてお聞きします。(ア)から(エ)までの質問に対し、「なかった」か「あった」か、その状況をお答えください。「あった」を選ぶ方については、その状態の程度についてもお答えください。一番低い「少しあった」から一番高い「かなりあった」までの3段階とした時、あてはまる段階を選んでください。(回答チェックは1つだけ n=338)

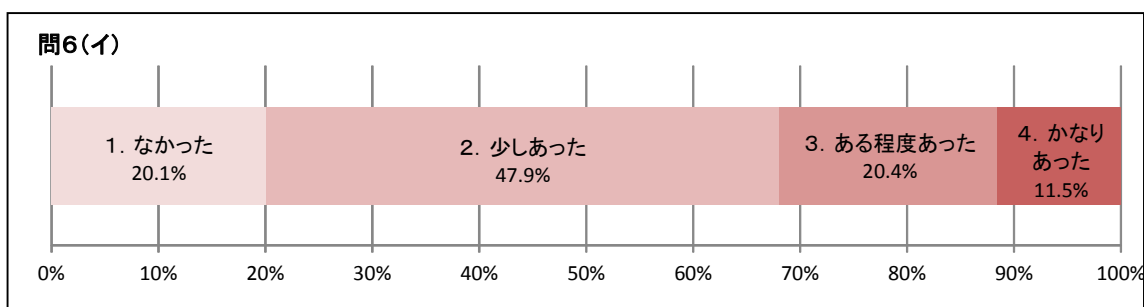
(ア) 嬉しいことがありましたか

項目	人数(人)	割合(%)
1. なかった	56	16.6%
2. 少しあった	123	36.4%
3. ある程度あった	114	33.7%
4. かなりあった	45	13.3%
合計	338	100.0%



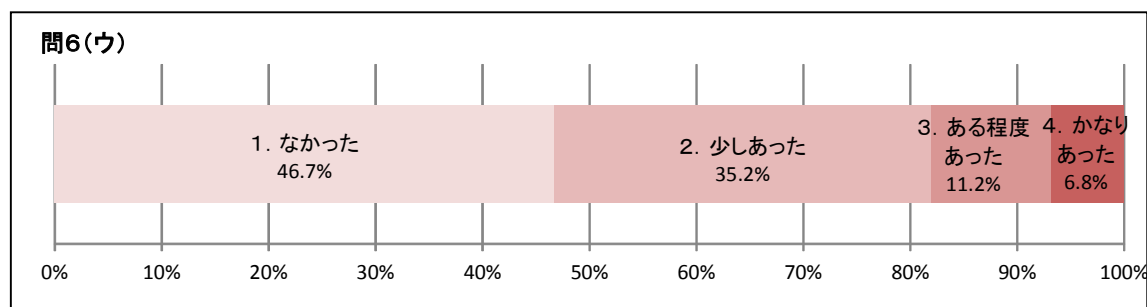
(イ) 怒りを感じることはありませんでしたか

項目	人数(人)	割合(%)
1. なかった	68	20.1%
2. 少しあった	162	47.9%
3. ある程度あった	69	20.4%
4. かなりあった	39	11.5%
合計	338	100.0%



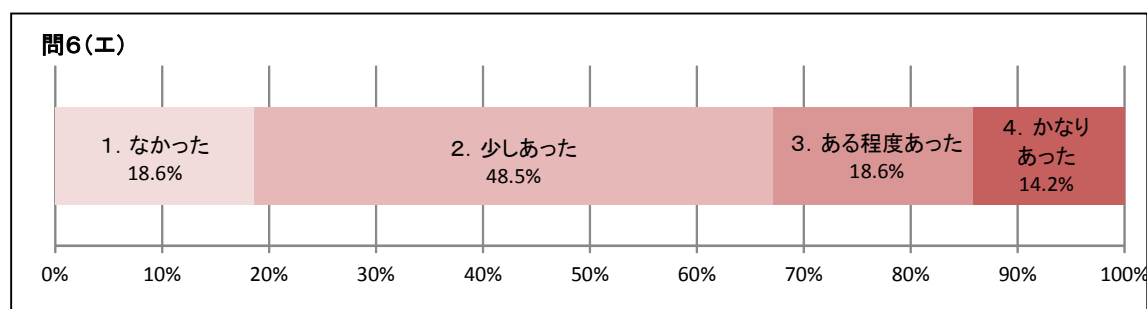
(ウ) 悲しい思いをすることがありましたか

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. なかった	158	46.7%
2. 少しあった	119	35.2%
3. ある程度あった	38	11.2%
4. かなりあった	23	6.8%
合計	338	100.0%



(エ) 心配事がありましたか

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. なかった	63	18.6%
2. 少しあった	164	48.5%
3. ある程度あった	63	18.6%
4. かなりあった	48	14.2%
合計	338	100.0%



問7 あなたの考える「豊かな滋賀社会」とはどのような社会ですか。ご意見がありましたらお聞かせください。(任意)(抜粋)

- ・環境に配慮し、子供たちに自信をもって継承していくものを残していける社会。
- ・自分のかかわらない世界で(株など)自分の生活が左右される今日の時代では行政が目先にとらわれずに長期的な展望のもとに行政を行うべきです。(年金を株で運用するなどもってのほかです。)豊かな生活とは自然とともに生きること。その上に、情報ネットワークを築くこと。
- ・子育てが安心してできる社会、子供が安心して成長できる社会。そのためには地域の力がとても必要で大事だと思います。
- ・こころが満たされていないければ、いくらお金があっても不幸だと思う。
- ・近隣の方達と、摩擦なく暮らせる社会が重要。
- ・コンクリートアスファルトで固められた人工的な街よりも土や草木を感じていたい。小さいバスでいいのでもっと数を走らせてほしいと思う。豊かに暮らせるとは大金を持っていることでもなく、大きな家に住むことでもなく、自分の身の回りは自分でとりしきって生活していけることだと思う。そういう意味で滋賀県は暮らしやすい場所であってほしい。
- ・滋賀は環境がすばらしい地域であり、都市部にも近くそのバランスをうまく保たれており、無理やり何か違う方向に誘導してほしくはない。
- ・健康に対する医療機関の充実や、介護制度の充実。
- ・私は「自然の力や人々の協力で、社会問題や環境問題などを解決する社会、心のゆとりのある暮らしを大切に作る社会」がよいと考えます。
- ・世代間のつながりがほどよくある社会。若い世代がもっと増える必要がある。
- ・男女が互いの分をわきまえて助け合い生活にまた社会参加のできる社会。生活や収入に格差の少ない社会。
- ・車が無くても生活できる、公共交通機関の便利な滋賀県になって欲しい。
- ・県内での就業が極力可能な様な社会の実現。
- ・年をとってもお金に困ることなく医療や介護の施設が利用できる社会。
- ・自然との共生や酪農や農業、漁業も滋賀県には必要。しかしこれは昔のやり方ではなく、技術力を活用して科学的な力を加えないと衰退する。
- ・怪我をしても、病気になっても、障がいがあっても、人としての価値が等しく尊重されること。
- ・一人一人が生き甲斐を持ち、毎日を安心して生活できる社会。
- ・もっともっと未来を担う子供たちの学力向上のためにしっかりお願いします。
- ・人と人との繋がり絆が深い地域社会であってほしいと思います。
- ・特に滋賀に限ったことではないが、当面は戦争の危険を強く感じる。最近の政府の動きは、憲法9条を破壊するように感じる。この恐れがあつては「豊かな社会」は期待できない。

(問7 続き)

- ・気軽におしゃべりの出来る仲間・場所がほしい。それには支所の活用が望ましい。窓口の側に小一時間程でもいいので腰を下ろして集える場所があると良いのではと思います。
- ・格差を少なくし、皆が豊かだと思える社会を作ることが、豊かな滋賀社会を作ることになると思います。
- ・自然豊かな滋賀の社会は、人口減少等問題がありますが、高度経済成長のような時代を臨むべきではなく、今ある自然を生かした人間らしい生活のできる環境を整えることが大切と考えます。
- ・人との交流はいくつになっても必要であり、また豊かな社会を作る礎になると思います。
- ・教育に力を入れればすぐに人口も増えます。これは間違いありません。
- ・個人は一人で社会生活を送れないことを知り、社会は個人を尊重する大切さを知ることが必要だ。
- ・遠くの親戚よりもご近所との付き合いをしっかりと必要性、そして言葉を交わし顔なじみになって楽しく生活することが大事である事を感じる。一人では生きていけない、社会の一員として自分が出来る事を最大限に行う事、それがその人の生きてきた証にもなるように感じ、それが豊かな社会を形成することに繋がるように思う。
- ・自然が残りつつも、公共交通機関が充実し、移動するのが便利であること。教育水準も高い社会。
- ・「豊かな社会」とは、そこに居る住民が、多少の我慢を強いられても、その内容・中味に納得した上で、安心して我慢が出来る社会のこと？
- ・滋賀県に限らず、何事も「中庸」を基本にしたバランスを考えながら、足るを知る生活を心がければ、個人ごとの「豊かな生活」を送れるように思います。
- ・これからもずっと滋賀に住みたいと思える社会。
- ・3世代がつながった生活ができる。自然との共存。仕事や農業が豊富で、県内で自給自足ができるような仕組み。県内で助け合いができるとよい。滋賀県から他県にお金が落ちることが多いので、滋賀内にお金が落ちる仕組みや仕事が増えるとよい。
- ・住環境が整い生活がしやすいこと。古い生活環境や地域のしがらみがなくなること。
- ・よく自助、共助、公助といいますが、そのバランスが大事だと思います。
- ・私が考える豊かな滋賀社会は、子供から大人までが滋賀の自然を大いに満喫することで心身の健康を整え、学校や仕事に精を出すことである。
- ・祖父母、親、子、孫がスーパの冷めない距離にいる事。また、勤務、学業がそう遠くない場所にあること。を理想として居住したい。

(問7 続き)

- ・物質的な豊かさよりも心の豊かさを大事にした社会にするような考えが膨らむことを期待します。今の日本の労働環境が先進国の中で最悪に近いという大きな壁があると思います。
- ・経済的にはある程度の水準が維持できればよい。心安らかな生活ができ、可能な範囲でボランティア活動によって社会に役立つことで満足できる生活。
- ・滋賀県の、欠点ばかり突っつくのではなくて、自然の中でのびのびと子どもを育てられることに誇りを持つことで、心の豊かさを得られると思う。
- ・少しは不便でも美しい風景のある社会。新しいものは我慢して古くてよいものをうまく活用する社会。自然災害に対して強い社会。
- ・心と言いたいですが、現実的に考えたら、お金がないと暮らせない。お金にゆとりがあれば、心も自然と豊かになる。
- ・格差のない社会。
- ・人間が生活する上で、最低限の収入が必要であり、やはり、仕事も自分自身がやってみたいものでないと、どんなに高収入であっても苦痛になるだけである。できるだけ、希望通りの仕事ができる環境を提供できる対策が必要であると思う。
- ・隣近所で課題が解決できる社会。
- ・近所に住んでいても遠くから温かい目で見守る地域生活。
- ・地理的な利便性を活かした企業誘致を進める一方で、滋賀の自然をいかすための経済的取組みも行い、ともにバランスをもった施策の推進が必要と思う。
- ・安定した収入で老後も安心して暮らせる社会など…。
- ・豊かな滋賀社会は、やはり安全かつ快適な生活環境があることで県民レベルで将来に目標が持てる社会の実現だと感じます。